

日本におけるペットロス 30年の歩みと展望

1995年11月25日、日本で初めてペットロスをテーマにしたシンポジウムが開催されました。それから30年の時を経て、ペットロス支援と研究がどのように展開してきたのか、疫学、社会学、心理学、精神医学の第一人者から「これまで」と「これから」を紹介します。



日 時：**12月6日(日)** 13:00～17:00 (開場 12:30)
会 場：日本大学 湘南キャンパス 10号館2階 第4講義室
＋リアルタイム配信
対 象：一般市民、動物医療関係者、研究者
参加費：無料 (右のQRコードから事前登録)



プログラム

13:00～13:30 導入	<u>木村 祐哉 (日本大学)</u> ペットロス30年の歩み	研究の視点
13:30～14:00	<u>新島 典子 (ヤマザキ動物看護大学)</u> 伴侶動物との死別経験をいかに残すか —— ペットロス研究資料のアーカイブ化に向けて	
14:10～14:40	<u>梶原 はづき (立教大学)</u> ※オンライン登壇 Pet Lovers Meeting 27年間のいままで、これから	当事者支援の視点
14:40～15:10	<u>今井 泉 (大阪公立大学)</u> くうくうの会を通して：セルフヘルプグループ「語り合う場」の力を信じて	
15:10～15:40	<u>濱野 佐代子 (日本獣医生命科学大学)</u> ペットロスとグリーフケア：研究とカウンセリングの視点から	専門的介入の視点
15:50～16:50 特別講演	<u>中島 聡美 (武蔵野大学)</u> 遷延性悲嘆症の概念と治療：臨床心理・精神医療の立場から	